

議事概要

会議名	令和3年度 第3回 首里城復旧・復興推進本部会議		
議 題	【議事事項】 (1) 首里城復興基金への寄附金の取り扱いについて (2) 首里城復興に係る新たな寄附金・基金の創設について (3) 正殿への県産木材の使用変更について		
日 時	R4.1.31 9:20-9:50	場 所	県庁6階 第2特別会議室
出席者	本部員	知事、両副知事、知事公室長、総務部長、企画部長、子ども生活福祉部長、農林水産部長、商工労働部長、文化観光スポーツ部長、土木建築部長、教育長	
	事務局	特命推進課、都市公園課	
配布資料	事務局	資料 令和3年度第3回首里城復旧・復興推進本部会議	

議事概要：

■事務局から、議事（1）「首里城復興基金への寄附金の取り扱いについて」説明。

◎本部員から特に意見はなく全員から同意を得た。

■事務局から、議事（2）「首里城復興に係る新たな寄附金・基金の創設について」説明。

（教育長）

・基金の活用方法の一つ目は、「建造物又は～人材育成」という文言になっているが、建造すること自体への充当も想定しているのか。あるいは人材育成のみか。

⇒（事務局）6条（1）で示しているのは、人材育成である。

（照屋副知事）

・宮大工について、現在県内に何名ほどいるのか？

⇒（事務局）棟梁クラス2名、現場監督1名の計3名程度いると聞いている。

（謝花副知事）

・P5の必要性について趣旨は問題ないが、説明文において、復元への寄附金が終了することと、寄附金が継続していること、新たな寄附金のことが出てくるので、整理すべきでは。

⇒（事務局）P5の表現について修文する。（別紙のとおり公開時資料にて修正）

（文化観光スポーツ部長）

・新たな寄附金は対外的に目標額を出して募集するのか、あるいは自然体で受入れるのか。

⇒（事務局）目標額を設定しての募集は想定していない（予算要求上は現行基金の令和3年度受入実績をもとに積算）。

(商工労働部長)

・人材育成に関して、工芸振興センターとの絡みも想定されるか。
⇒(事務局)工芸振興センター、県立芸大、美ら島財団といった関係機関との連携を想定している。

◎その他、本部員から特に意見はなく同意を得られた。

■事務局から議事(3)「正殿への県産木材の使用変更について」説明。

(知事)

・木材を国産ヒノキに変更した場合、その分も寄附金を活用することになるのか？

(事務局)

・その通り。正殿の他の箇所でも活用するイヌマキ等も県外産であり、それも寄附金を活用して調達することになっている。

◎その他、本部員から特に意見はなく同意を得られた。

以上

【別紙】

会議における本部員指摘を受けて、議題 2 に係る資料 P5 を下記のとおり修正した。
(公表資料は修正済)

(変更前)

- ◆県では、首里城復興基本計画に基づき、首里城の復元はもとより、首里城に象徴される琉球の歴史・文化の復興を図り、首里城復元後も見据えて長期的に関連事業を推進していく方針である。
- ◆首里城への寄附金は、現在でも継続してなされており、国内外からの関心が高い。特に「伝統技術に係る人材育成」や「首里の歴史まちづくり」の長期的な取組については、地域団体や企業など多くの皆様から強い要望等があり、その推進のための寄付を希望する声もある。
- ◆このことから、県民等との連携・協働のもと首里城復興を推進していくため、首里城復興基本計画に位置づける施策のうち、これらの声に活用できるよう、新たな寄附金と基金を創設し、首里城に象徴される歴史・文化の継承に取り組んでいく必要がある。

(変更後)

- ◆県では、首里城復興基本計画に基づき、首里城の復元はもとより、首里城に象徴される琉球の歴史・文化の復興を図り、首里城復元後も見据えて長期的に関連事業を推進していく方針である。
- ◆首里城に対しては、現在も様々な主体が復興に係る活動に取り組み、色々な要望等が県に寄せられている。特に「伝統技術に係る人材育成」や「首里の歴史まちづくり」の長期的な取組については、地域団体や企業など多くの皆様から強い要望等があり、その推進のための寄付を希望する声もある。
- ◆このことから、県民等との連携・協働のもと首里城復興を推進していくため、首里城復興基本計画に位置づける施策のうち、これらの声に活用できるよう、新たな寄附金と基金を創設し、首里城に象徴される歴史・文化の継承に取り組んでいく必要がある。